

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 19 日	
岐阜県知事 古田 肇 様	
提出者	
住 所 岐阜県瑞穂市穂積1330番地	
氏 名 株式会社 松 野 組	
代表取締役 松野 守男	
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 058-327-3200	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 松野組
事業場の所在地	岐阜県瑞穂市穂積1330番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	完成工事高 190,000万円
③従業員数	42人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div><div>・がれき類</div><div>・木くず</div><div>・廃プラスチック類</div><div>・混合廃棄物</div></div><div><div>⇒再生業者に処理を委託→再生砕石として再資源化</div><div>⇒再生業者に処理を委託→チップ・燃料等として再資源化</div><div>⇒中間処理業者に処理を委託→燃料・建設材料等として再資源化 (再生不可能な廃プラスチック類は、最終処分業者に委託して埋立処分)</div><div>⇒中間処理業者に委託選別→再資源化 (再生不可能な混合物は、最終処分業者に委託して埋立処分)</div></div></div>



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
総括責任者		：専務取締役	
↓			
廃棄物管理責任者		：統括工務部長	
↓			
廃棄物担当責任者		：各作業所長	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	別紙-1に記載 t
	（これまでに実施した取組） <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート2次製品の切断ロスの削減（特注品の発注及び使用による排出抑制） ・材料管理の徹底による産業廃棄物の排出抑制（余剰材料の減量） ・余剰材料の引取り要請（返品）による排出抑制 ・発生時の分別徹底による再生及び再利用の促進 		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	別紙-1に記載 t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート2次製品の切断ロスの削減（特注品の発注及び使用による排出抑制） ・材料管理の徹底による産業廃棄物の排出抑制（余剰材料の減量） ・余剰材料の引取り要請（返品）による排出抑制 ・発生時の分別徹底による再生及び再利用の促進 ・過剰梱包の抑制を関係業者に要請 ・パレット等の引取りを関係業者に要請（再利用） 		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・木くず、廃プラスチック等については、各作業所においてコンテナや袋等の容器により分別している 		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> ・金属くずの専用容器を設け、有価物として処理する ・混合廃棄物を極力避け、種類ごとのパレットや容器を増やして分別を徹底する 		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－1に記載	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施した事例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－1に記載	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－1に記載	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施した事例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－1に記載	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙－1 に記載	
		t	t
	（これまでに実施した取組） ・実施した事例なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙－1 に記載	
		t	t
	（今後実施する予定の取組） ・実施予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	別紙－1 に記載	
		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物を適正に処理できると思われる業者を選定し、書面により委託契約を結んでいる ・選定にあたっては、過去の実績、優良認定業者一覧、ホームページからの情報等を活用している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	別紙-1 に記載 t t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 優良認定業者をできるだけ多く活用する ・ 主要な委託処理業者に対して、定期的（半期に1回程度）に現地確認を実施する 		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

実績：前年度産業廃棄物排出量

令和6年度産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

計画：当年度産業廃棄物排出量の目標値

単位：t

産業廃棄物の種類	排出量				自ら再生利用を行った産業廃棄物の量				自ら熱回収を行った産業廃棄物の量				自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量				自ら独立処分又は海洋投棄処分を行った(行う)産業廃棄物の量				産業廃棄物の処理の委託							
	実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		実績		計画		全処理委託量				優良認定処理業者への処理委託量			
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画
コカークがら	2,088.0	1,500.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,088.0	1,500.0	0.0	0.0	2,088.0	1,500.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アクリルがら	2,625.0	3,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2,625.0	3,000.0	0.0	0.0	2,625.0	3,000.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラス・陶磁器くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
がれき類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	39.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.0	100.0	0.0	0.0	39.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合（安定型のみ）	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
混合（管理型含む）	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0	2.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
石綿含有廃棄物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設汚泥	662.0	700.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	662.0	700.0	0.0	0.0	662.0	700.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	140.0	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	140.0	150.0	0.0	0.0	140.0	150.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維くず	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃石膏ボード	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	5,556.0	5,530.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5,556.0	5,530.0	181.0	310.0	5,375.0	5,220.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0